

## 会議録

会議の名称	平成27年度 弘前市みどりの審議会
開催年月日	平成28年 1月26日(火)
開始・終了時刻	午後1時30分 から 午後2時10分まで
開催場所	弘前市緑の相談所 集会室
議長等の氏名	会長 原田 幸雄
出席者	石岡人志、葛西 進、加藤順治、川村政孝（職務代理者）、木村武雄、清水知子、清野優美子、玉熊恭子、原田幸雄（会長）、堀内 弦、三上美知子《あいうえお順》
欠席者	
事務局職員の職氏名	浅利洋信（都市環境部長）（挨拶）、古川勝（公園緑地課長）、小林勝（同参事）、小嶋修造（同課長補佐）、鳴海淳（同主幹兼管理係長）、橋場真紀子（同主事）、海老名雄次（同主事）、木村和馬（同主事）
会議の議題	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①弘前市保存樹木等の指定状況について</li> <li>②弘前公園サクラ土壤改良について</li> <li>③弘前公園松くい虫対策について</li> <li>④保存樹木の樹勢調査について</li> <li>⑤緑化推進活動について</li> </ul>
会議結果	報告事項について内容の確認を行った。
会議資料の名称	・報告事項（弘前市みどりの審議会）

会議内容  (発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)	<p>委員：保存樹木に指定されている大成小学校のサクラのそばにあるサクランボはもう枯れているのか。回復させることはできるのか。</p> <p>事務局：まだ生きているが状態が悪い。肥料をやるなどの措置をすれば回復する可能性はあることを学校関係者や教育委員会に伝えてある。</p> <p>委員：松くい虫について、樹幹注入を6年間で実施することだが、注入までの間の対策はどうするのか。</p> <p>事務局：予算の関係もあり一気に全てをやることはできないので、樹幹注入するまでの間は、松に肥料を与えることで樹勢を良くし、松くい虫に感染しないようにしたい。</p> <p>委員：薬は高額なのか。</p> <p>事務局：1本2,500円くらいで、必要量を確保するには3,000万円程度必要になる。</p> <p>委員：秋田から青森県に一気に松くい虫が入ってこないのは、りんごの農薬散布の効果が考えられないか。</p> <p>事務局：りんごの農薬散布の効果もあると思う。</p> <p>委員：市内小公園や市民中央広場などの樹木の成長により、景観が悪くなるなどの影響があるが、伐採などの措置が必要ではないか。</p> <p>事務局：樹木については、成長を確認しながら枝の剪定や伐採を順次実施している。</p> <p>委員：松くい虫の樹幹注入剤は、虫のどの状態に対応しているのか。</p> <p>事務局：線虫の幼虫・成虫に対して効果がある。カミキリムシには効果がない。</p> <p>委員：松くい虫の発生状況などの周知はしているのか。</p> <p>事務局：県のホームページや市の広報などで周知している。</p> <p>委員：秋田県の松くい虫対策についての情報は持っているのか。</p> <p>事務局：秋田県では植林の被害樹は焼却処分するなどの対応を行っている。</p> <p>委員：重要な樹木については樹幹注入を行っているほか、海岸の防災林については空中散布を実施している。</p>
その他必要事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 会議 公開</li> </ul>